



KANSAI CITY  
PHILHARMONIC ORCHESTRA

THE 47TH SUBSCRIPTION CONCERT

M A H L E R  
A U F E R S T E H U N G

関西シティフィルハーモニー交響楽団  
第47回定期演奏会 | 2009年2月8日[日]14:30  
ザ・シンフォニーホール

主催—関西シティフィルハーモニー交響楽団  
協賛—株式会社 ASK PLANNING CENTER

# 関西シティフィルハーモニー交響楽団

KANSAI CITY PHILHARMONIC ORCHESTRA

(社)日本アマチュアオーケストラ連盟加盟団体/大阪文化団体連合会会員団体



2008年9月14日、ザ・シンフォニーホール、第46回定期演奏会

1974年各大学オーケストラの卒業生を主たるメンバーとして、関西OB交響楽団の名称で結成。1994年創団20周年を機に現在の団名に改称。“アマチュア精神に基づく、グレードの高い社会人オーケストラ”をモットーに、年間2回の定期演奏会をはじめファミリーコンサート等を、意欲的に開催しています。近年は指導体制の充実に力点を置き、有能なプロの先生方を指揮者や指導スタッフに招請して研鑽を積んで参りました。中でも、1998年より4年間、ズラタン・スルジッチ氏(現ドブプロヴニク交響楽団首席指揮者)を常任指揮者に招聘し、その指導を仰いだことにより「音楽的に大きな飛躍を遂げた」との評

価を内外から得ております。また組織としても「若い力」を積極的に運営面に活かし、“常に成長するオーケストラ”を目指して努力を重ねております。2004年8月に大阪市で開催された「全国アマチュアオーケストラフェスティバル大阪大会」では、開催主管団体として、当団の組織力を遺憾なく発揮し、フェスティバル成功の原動力として、連盟をはじめ全国のアマチュアオーケストラ各位から、高い評価と大きな賛辞を頂くことができました。毎週土曜日の夜、指揮者やトレーナーの先生方の指導のもと、真剣な練習を行っており、現在団員数は、約100名を有します。

## ごあいさつ



阿保 幸雄 Sachio Abo

関西シティフィルハーモニー交響楽団 団長

本日は、私共の第47回定期演奏会によるごそお越し下さいました。

「だんだん良くなる関西シティフィル!」を言葉に私共のオーケストラはお陰様で少しずつ良くなってきました。これもひとえにご来聴の皆様方のご支援と、そして団員全員の熱意のお陰である大変喜ばしくそして誇りに思っています。団が成長する過程では節目となる演奏会を30数年の間に何回か経験してきましたが、今回もその節目となる演奏会である私共は認識しています。舞台には100人の楽団員とオルガン奏者、2人のハーピストと7人の打楽器奏者、そして120人の合唱団員と2人の独唱者、舞台裏には10人の金管と打楽器奏者(バンド)、約240名が一丸となってこの大曲(復活)に挑みます。演奏も大変ですがマネージメントはもっと大変です。そして多額の経費も私

共にのしかかって来ます。それでも未来に向けて次の飛躍のために、出来得る限りの最高の演奏をしようと張り切っています。

関西シティフィルハーモニー合唱団とは、今回で5回目の協演となります。借り物で無い、仲間の合唱団とく復活を協演できるなんて、なんと幸せな事でしょう!そして今回のトピックはなんとと言っても関西二期会のスタープレイヤーであるソプラノの畑田弘美さんとメソソプラノの福原寿美枝さんにソロを歌っていただけの事です。この素晴らしいお二人とバイオリンの名手でもある我らが常任指揮者ギオルギ・ババアゼ氏が、私共をより一層の高みに導いてくださることを大いに期待しています。

末筆となりましたが、ご来聴の皆様方には今後とも当団に対し、温かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

関西シティフィルハーモニー交響楽団

第47回定期演奏会

2009年2月8日[日]14:30

ザ・シンフォニーホール

# マーラー 交響曲第2番 「復活」

I. Allegro maestoso

II. Andante con moto

III. In ruhig fliessender Bewegung

IV. Urlicht: sehr feierlich, aber schlicht

V. Im Tempo des Scherzos. Wild herausfahrend

本演奏会は1曲のみ(約80分間)の演奏のため休憩はございません。

指揮

ギオルギ・バブアゼ

ソプラノ

畑田 弘美

メゾ・ソプラノ

福原 寿美枝

管弦楽

関西シティフィルハーモニー交響楽団

合唱

関西フィルハーモニー合唱団

1962年グルジア共和国トビリシ生まれ。トビリシ国立音楽院にてシウカシュヴィリ教授にヴァイオリンを、オディセイ・ティムトリアデー氏に指揮を学ぶ。モスクワにてポロディン弦楽四重奏団のベルリンスキー氏に師事。1986年より5年間バトゥーミ市交響楽団の指揮を務める。1990年よりグルジア音楽協会室内管弦楽団の芸術監督および首席指揮者を務め、フランス、ドイツへ演奏旅行。その他、国内外におけるオーケストラのヴァイオリン奏者としてイタリア諸都市で演奏する傍ら、グルジア弦楽四重奏団のメンバーとしても活躍。1996年より大阪シンフォニカー交響楽団のコンサートマスター、2001年10月より関西フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスターに就任。2002年4月より京都市立芸術大学ヴァイオリン専攻科非常勤講師も務める。トビリシ弦楽四重奏団メンバー。2005年より、関西シティフィルハーモニー交響楽団常任指揮者就任。



ギオルギ・バブアゼ 指揮

George BABUADZE

関西シティフィルハーモニー交響楽団  
常任指揮者



## マーラー

### 交響曲第2番「復活」

グスタフ・マーラー（1860-1911）が交響曲第2番の作曲を始めたのは30歳の頃で、1891年12月にはこの曲の第1楽章となる「葬礼」と題した曲を指揮者のハンス・フォン・ビューローにピアノで弾いて聴かせている。このころマーラーはハンブルグ市立歌劇場の正指揮者に就任し、指揮者としての名声を得つつあった。1894年2月にビューローが死去し、その葬儀に参列したマーラーは、そこで合唱がクロプシュツクの詩による「復活」を歌うのを聴いて、強い靈感を受け、この詩に基づいた終楽章の構想を思いついた。マーラーはその時の印象を手紙の中で次のように書いている。「そのコーラルが稲妻のように私を貫き、すべては全く明らかに、はっきりしたものになったのです。」この年の12月に、全曲が完成した。このときマーラーは34歳。なお、第5楽章の詩はクロプシュツクのものにマーラー自身が加筆したものである。詩と対訳を文末に載せた。

この曲は、交響曲の中に声楽が取り入れられていること、非常に大きな4管編成のオーケストラを用いていることなど、マーラーの後の交響曲にもみられる巨大さへの出発点となっていて、それまでの常識からは外れるが、とてもマーラーらしい交響曲であると思われる。

#### 第1楽章

低弦の荒々しい音型で衝撃的に始まる第1主題は、暗く不吉な葬送の音楽で、動かしがたい運命を思わせ、聴く人を否応なく引っ張っていく。バイオリンで奏でられる第2主題は遠く淡い世界にあこがれるかのようである。

マーラーが書いた手紙によると、この楽章は「葬送の儀式」であり、同時に、「汝はいかなる目的のために生きてきたのか」という大きな問いかけを表している。マーラーはこれに対する答えを終楽章で与えている。

#### 第2楽章

レントラー（オーストリアの民族舞曲）風の舞曲の間に二つのトリオがはさまった形式。第1楽章とは対照的になごやかで、マーラーは「過ぎ去った生涯からの純粹で汚れない陽光」と説明している。

#### 第3楽章

独創的なスケルツォである。マーラー作曲の歌曲集「少年の魔法の角笛」の中の「魚に説教するパドヴァの聖アントニオ」からとられた主題をバイオリンが流れるように歌う。主題は次第に陰を帯び、不安でグロテスクな響きとなる。マーラーの説明は「夢から覚め、再び生活の喧騒の中に戻ると、人生の絶え間ない流れが恐ろしさをもってぶつかってくるのがよくある。…人生は無感覚であなたたちに現れ、あなたたちが嫌悪の叫び声をあげてとび起きることのある悪夢に似ている。」

#### 第4楽章 ー原光ー

アルトソロが、前奏もなく歌い始める。「おお、紅の薔薇よ」オーボエやソロ・バイオリンが答え、室内楽的な響きの中で、天国への憧れが歌われる。

「私は神から来たもので、神のもとへ帰っていきたい」

#### 第5楽章

荒々しい低弦の上行音階で静寂が破られ、最後の審判へと進んでいく混沌がオーケストラ全体で表現される。神の啓示を表す恐ろしいトランペットの響き。恐ろしい静寂の後で、遠くから聴こえる夜鶯の声をフルート・ピッコロが奏でる。すると静かに合唱が復活の賛歌を歌い始める。天から降ってくる柔らかな光のような歌が、だんだんと確信をもって、力強く晴れやかになっていく。最後は全オーケストラの強奏とともにオルガンが響き鐘が打ち鳴らされ、圧倒的なクライマックスとなって曲が閉じられる。

## soloists



### 畑田 弘美

ソプラノ

相愛大学卒業。同大学研究科修了。NHK-FM洋楽オーディションに合格。第2回摂津音楽祭にて奨励賞受賞。第21回イタリア声楽コンクール入選。第3回宝塚ベガ音楽コンクール声楽部門第2位。オペラでは「ドン・ジョヴァンニ」のドンナ・エルヴィラ役で関西二期会にデビュー。その後「コシ・ファンツッテ」のドラベッラ、「春琴抄」のしげ女で手堅い演唱で好演。1998年「ナクス島のアリアドネ」のアリアドネでは「プリマ・アリアドネを演じる畑田の歌唱が冴え」（関西音楽新聞）、また2000年にはワグナーの「ワルジファル」のクンドリーでは「ドラマの結節点を成り立たせたのはクンドリー役の畑田弘美の大健闘によるところが大きい」（朝日新聞）、「唯一の女声の主役である畑田の演技はさらに興行きがある」（日本経済新聞）、「劇的な歌唱、高密度な感情表現は圧倒的でアンサンブルも緊密だった」（神戸新聞）、「クンドリーが抜群の力演」（音楽の友）等評された。その他では「蝶々夫人」のタイトルロールをはじめ「魔笛」待女I、「フィガロの結婚」、「フィデルオ」のレオノーレ、「トロヴァトーレ」のレオノーラ等に出演。またベートーヴェンの「第九」のリストとしても出演。1999年・2004年にはR.シュトラウス、ワグナーの作品を中心としたリサイタルを開催、好評を得る。2001年西村朗作曲モノオペラ「絵師」（日本初演）を歌い絶賛された。また2005年には関西二期会公演及び文化庁二国間交流事業で「タンホイザー」のエリーザベト役、また2008年新国立劇場地域招聘公演で「ナクス島のアリアドネ」のアリアドネ役で出演し、両公演とも歌唱の高さを知らしめた。現在、相愛大学音楽学部及び相愛高等学校講師。関西二期会正会員、日本シューベルト協会会員。

京都市立芸術大学音楽学部声楽専修卒業、卒業時音楽学部賞を受賞。同大学院音楽研究科修了。第10回友愛トリートコンクール第2位、第69回日本音楽コンクール入選。数多くのジョイントリサイタル及び、日本演奏家連盟主催によるリサイタルを開催。オペラでは、モーツァルト「コシ・ファンツッテ」、「魔笛」、メンツィー「領事」「アマールと夜の訪問者」、クルト・ワイル「オペラ付ハルシエ」七つの大罪」アンナ役、神戸アーバンオペラ公演ピゼー「カルメン」タイトルロール、他に出演。また、ケルン市立歌劇場との共同制作による関西二期会創立40周年記念第59回オペラ公演R.シュトラウス「ばらの騎士」においてオクタヴィアン役を好演する。2005年ワグナー「タンホイザー」においてヴェーヌス役を好演。関西二期会オペラ公演R.シュトラウス「ナクス島のアリアドネ」作曲家役、東京シティーフィルハーモニー定期演奏会ワグナー「トリスタンとイゾルデ」ブラングーネ役を歌い好評を得る。新日本フィルハーモニー交響楽団「パッパ」口短調ミサでボッセ氏と共演。NHK交響楽団定期演奏会モーツァルト「レクイエム」でアッシュケナージ氏と共演。パッパ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」「マニフィカート」、多数の「カンタータ」、ヘンデル「メサイヤ」「Dixit Dominus」、モーツァルト「レクイエム」「戴冠ミサ」「大ミサ曲」ハ短調「ペートルズ」第九、「荘厳ミサ曲」「ドヴォルザーク「スタバート・マーテル」、ブラームス「アルトラファンディー」マーラー「大地の歌」等、教会音楽、ソリストの分野でも活躍。曾我淑人、正木真理、故永田綾子、三井ツヤ子の各氏に師事。京都市立芸術大学音楽学部非常勤講師、神戸市混声合唱団団員、関西二期会会員、京都音楽家協会会員、神戸フォーレ協会会員。



### 福原 寿美枝

メゾ・ソプラノ

IV. Uralight

O Röschen roth!  
Der Mensch liegt in grösster Noth!  
Der Mensch liegt in grösster Pein!  
Je lieber möcht' ich im Himmel sein!  
Da kam ich auf einen breiten Weg;  
Da kam ein Engelein und wollt' mich abweisen.  
Ach nein! Ich lieb' mich nicht abweisen!  
Ich bin von Gott unt will wieder zu Gott!  
Der liebe Gott wird mir ein Lichtchen geben,  
Wird leuchten mir bis in das ewig selig Leben!

V.

Aufersteh'n, ja aufersteh'n wirst du,  
mein Staub, nach kurzer Ruh!  
Unsterblich Leben! Unsterblich Leben  
wird, der dich rief, dir geben!  
Wieder aufzublüh'n wirst du gesät!  
Der Herr der Ernte geht  
Und sammelt Garben  
Uns ein, die starben!

O glaube, mein Herz, o glaube:  
Es geht dir nichts verloren!  
Dein ist, dein, ja dein,  
Was du gesehnt!  
Dein, was du geliebt,  
Was du gestritten!

O glaube:  
Du wardst nicht umsonst geboren!  
Hast nicht umsonst gelebt, gelitten!

Was entstanden ist, das muss vergehen!  
Was vergangen, auferstehen!  
Hör auf zu beben! Bereite dich!  
Bereite dich zu leben!

O Schmerz! Du Alldurchdringer!  
Dir bin ich entrungen!  
O Tod! Du Allbezwinger!  
Nun bist du bezwungen!  
Mit Flügeln, die ich mir errungen,  
In heißem Liebesstreben  
werd'ich entschweben  
zum Licht, zu dem kein Aug'gedrungen!

Mit Flügeln, die ich mir errungen,  
Werde ich entschweben.  
Sterben werd' ich, um zu leben!  
Aufersteh'n, ja aufersteh'n wirst du,  
Mein Herz, in einem Nu!  
Was du geschlagen,  
zu Gott wird es dich tragen!

第4楽章 一原光一

(アルト独唱)  
おお、紅の小さな薔薇よ!  
人間は困窮の極みにある!  
人間は苦悩の極みにある!  
私はむしろ天国に居たい!  
そのとき私は広い道にたどりついた。  
するとひとりの天使がやってきて、私を追い払おうとした。  
いいえ、私はそうはさせなかった!  
私は神から来たもので、再び神のもとへ帰っていきたい!  
神様は私に小さな灯を与えてくださり、  
祝福された永遠の生命へと照らし導いてくださるだろう!

第5楽章

(合唱とソプラノ)  
よみがえる、そう、よみがえるだろう、  
わが塵なるものよ、ひとときの憩いの後に!  
不滅の生命! 不滅の生命を  
おまえを召した方がおまえに授けてくださるのだ!  
再び花咲くために、おまえは種まかれるのだ!  
収穫の主が行き給いて  
集め給う、穀物の束を  
死者であるわれわれを!

(アルト独唱)  
おお 信ぜよ、わが心よ、信ぜよ  
おまえは何も失わないのだ!  
おまえのものは、おまえのもの、そう、おまえのものだ  
おまえが切望したものは!  
おまえのものなのだ、おまえが愛したものは、  
おまえがそのために戦ったものは!

(ソプラノ独唱)  
おお 信ぜよ、  
おまえは徒に生まれたのではない!  
無為に生き、苦しんだのではない!

(合唱とアルト)  
生まれたものは、必ず滅びる!  
滅びたものは、必ずよみがえる!  
震えるのはやめよ! 備えよ!  
生きる準備をするのだ!

(ソプラノとアルト独唱)  
おお 苦痛よ! すべてに浸透するものよ!  
おまえから私のはのがれた!  
おお 死よ! すべてを征服するものよ!  
いまやおまえのほうに征服されたのだ!  
勝ち得た翼をひろげ、  
熱い愛の力にのって  
私は舞い上がるよ  
だれの目も届かぬ光のもとへ!

(合唱)  
勝ち得た翼をひろげ、  
私は舞い上がるよ  
生きるために、私は死ぬのだ  
よみがえる、そう、よみがえるだろう、  
わが心よ、たちまちのうちに!  
おまえが勝ち得たものが  
おまえを神のもとへ運んでくれるだろう!

# 関西シティフィルハーモニー合唱団

KANSAI CITY PHILHARMONIC CHORUS

関西シティフィルハーモニー交響楽団の姉妹団体として2005年11月のファミリーコンサート(池田アゼリアホール)を機に、池田市および近隣の合唱経験者を中心に結成。《アイダ》《ナブッコ》などイタリア・オペラの合唱曲をプログラムに組んだ同コンサート(ズラタン・スルジッチ指揮)にてデビュー。その後、06年9月の関西シティフィル定期演奏会(ザ・シンフォニー・ホール)および11月のファミリーコンサートではボロディンの歌劇《イーゴリ

公》より「ダッタン人の踊り」を共演(ギオルギ・バブアゼ指揮、高谷光信指揮)。08年1月には再びスルジッチ指揮にてワーグナーの歌劇《タンホイザー》をハイライト形式でファミリーコンサートにて演奏。いずれの舞台も成功裏に終えました。今後もオペラ合唱曲やミサ曲など、管弦楽と合唱の融合をめざしたコンサートを計画しており、今年5月31日にはアゼリアホールにてモーツァルト《レクイエム》を演奏する予定です。

## ■ ソプラノ

青井厚美  
池田祐子  
井戸章子  
伊藤智子  
井内里子  
大西愛  
岡田慶子  
岡久恵子  
片桐真喜子  
葛野明子  
紀本倫子  
小櫻ユク子  
近藤恵子  
白井昭子  
新藤至子  
高野悦子  
高橋生子  
滝本節美  
多田真知子  
土岐久子  
永井万濟美  
中尾保子  
中橋秀子  
野口洋子  
野田麗子  
狭間享子  
平田豊美  
広瀬芙美  
藤田登士子  
二上牧子  
益野千賀子  
三谷佳子  
三村昌子  
宮島尚子  
山本絢矢  
吉岡睦子  
吉田美由紀  
和田葉子  
渡瀬みどり

## ■ アルト

天野由紀子  
井頭節子  
石塚磨須子  
魚谷久美  
内田須加子  
大坂香子  
奥田照子  
奥村久美子  
小野和美  
叶井貴美子  
亀井美樹子  
川本美恵子  
木村里子  
小林よし子  
小松萬寿子  
阪口博子  
志方義江  
島内恵津子  
住友俊子  
高橋博子  
谷口節子  
田淵益子  
中村桂子  
中村せつ子  
中村真理  
畑惇代  
船田芙紗子  
前田ミネ子

## ■ テノール

相原敏明  
新崎盛哲  
内海保人  
内片武治  
恵美賢昭  
大西優  
岡田謙二  
角地正直  
加藤篤齋  
加納定昭  
清田隼久  
佐藤隆  
諏訪部匡司  
戸川直己  
中村光伸  
中山登晟  
中村秀樹  
西尾幸紘  
野口淳二  
野澤勝  
畑中久弥  
ボスマンラルフ  
曲尾光治  
丸山敏彦  
湯原毅  
吉田和雄  
和田健介

## ■ バス・バリトン

朝山宏  
石塚一郎  
梅田修  
太田寅義  
小野耕司  
木村克哉  
紀本岳志  
黒河徳一  
小林協一  
坂上洋一  
杉本哲男  
高村千秋  
高谷昭等  
谷口秀夫  
中野信二  
中村勝栄  
野村安伸  
飯銅秀治  
広瀬義行  
藤田武士  
村井莊平  
山田健三  
山中雅信  
博

- 
- |        |      |        |      |
|--------|------|--------|------|
| □指揮者   | 中村勝栄 | □団長    | 大西優  |
| □合唱指導  | 榎水枝  | □運営委員長 | 紀本岳志 |
| □ピアノ伴奏 | 井頭幸子 |        |      |

■VIOLIN

◎西 田 美音子  
 稲 葉 宏 己  
 宇 山 雅 野  
 岡 崎 雅 樹  
 ◎小野寺 慶 太  
 片 山 敦 子  
 加 藤 孝 司  
 加 藤 裕 紀 子  
 河 盛 晶 子  
 神 田 靖 子  
 小 坂 林 有 希 妃 子  
 佐 元 向 恵 美 和 子  
 島 津 知 華  
 島 隅 谷 恭 子  
 田 中 成 恵 美 子  
 友 成 島 直 雄  
 中 島 谷 日 出 夫  
 中 谷 道 千 代 里  
 難 波 村 悠 美  
 西 橋 本 口 敏 彦  
 樋 口 貴 雄 子  
 藤 田 恵 子  
 益 子 一 和  
 ◎宮宇地 秀 裕 弓 子  
 森 川 本 真 景

■VIOLA

有 馬 夕 稀  
 ○池 田 景 子  
 井 戸 義 訓  
 入 江 隆  
 太 岡 田 真 紀 子  
 川 端 成 彬  
 更 谷 直 子  
 高 田 千 尋  
 高 田 真 紀 子  
 坂 東 佑 二 郎  
 福 田 文 治  
 松 本 光 世  
 宮 崎 友 彰

■VIOLINCELLO

安 彦 郁  
 阿 保 幸 雄  
 岩 田 倫 和  
 上 田 真 紀 子  
 小野田 素 大 綾  
 ○梶 坂 元 正 三  
 豊 島 樫 正 誠  
 富 橋 本 美 代 子  
 廣 瀨 恵 子  
 吉 川 秀 樹

■DOUBLE BASS

◎安 彦 義 哉  
 稻 葉 杏 子  
 清 水 奈 緒  
 長 岡 豊 大 子  
 松 本 昌 大 一  
 安 近 紀 昭 一  
 渡 辺 川 宏 明 (客演)  
 寺 島 洋 之 明 (客演)  
 三 好 哲 郎 (賛助)

■FLUTE

浅 井 葉 子  
 姜 愛 順  
 北 田 真 維  
 ○芝 野 均

■OBOE

岡 田 啓  
 勝 山 貴 美 子  
 ○酒 井 洋  
 西 山 健 市  
 波 留 ひとみ

■CLARINET

安 彦 聡 子  
 ○打 田 正 樹  
 栗 山 明 子  
 芝 野 範 子  
 細 野 巖

■FAGOTT

○一ノ瀬 圭 子  
 竹 内 郁 夫 (賛助)  
 片 寄 伸 也 (客演)  
 常 深 大 史 (客演)

■HORN

○織 田 克 洋  
 酒 井 星 子  
 西 山 順 子  
 廣 橋 麻 理 子  
 山 科 幸 生  
 山 部 直 樹 (客演)  
 黒 田 直 樹 (客演)  
 津 川 誠 誠 (客演)  
 塚 本 真 衣 (客演)  
 友 田 拓 治 (客演)  
 永 井 孝 治 (客演)  
 古 谷 真 衣 子 (客演)

■TRUMPET

残 熊 祐 治  
 西 川 倫 史  
 ○廣 橋 誠 司  
 山 田 浩 之 (客演)  
 内 平 健 (客演)  
 浦 田 誠 真 (賛助)  
 西 谷 良 彦 (賛助)  
 白 水 大 介 (賛助)  
 山 崎 友 加 (客演)

■TROMBONE

柏 岡 亨  
 ○金 昌 信  
 正 岡 千 明  
 田 中 育 博 (客演)

■TUBA

藤 川 健

■PERCUSSION

橋 淳 士  
 ○田 村 千 春  
 吉 田 恭 子  
 氷 見 周 平 (客演)  
 富 岡 計 次 (客演)  
 橋 本 邦 子 (客演)  
 平 史 彦 (客演)

■HARP

鈴 木 貴 子 (賛助)  
 橋 本 和 恵 (賛助)

□団長

阿 保 幸 雄

□副団長

柏 岡 亨

□運営委員長

山 科 幸 生

□チーフパートリーダー

廣 橋 誠 司

(兼インスペクター)

□インスペクター

小野寺 慶 太

□総務

岡 雅 樹

織 田 元 克 正

坂 富 元 櫻 川 倫 史

西 山 部 義 幸

□会計

田 村 千 春

□人事

栗 山 明 子

□IT

岩 田 倫 和

□ライブラリアン

井 戸 義 訓

□楽器

橋 淳 士

□友の会

正 岡 千 明

□会計監査

長 岡 豊

□桂冠団員

大 川 進 一 郎

桂 田 豊 斉

(兼相談役)

◎…コンサートミストレス  
 コンサートマスター

○…パートリーダー

□トレーナー

池 田 重 一 中 谷 葉 子  
 岩 井 英 樹 橋 林 本 弘  
 高 野 昌 里 三 好 眞 也  
 谷 本 口 好 哲  
 田 重 一 中 谷 葉  
 本 英 樹 橋 林 本 弘  
 野 昌 里 三 好 眞 也  
 本 里 撰 理 三 好 眞 也

## 第7回池田ファミリーコンサート

2009年 **5 | 31** 日

午後3時開演予定  
池田市民文化会館 アゼリアホール

指揮—高谷光信

モーツァルト：レクイエム

ブリテン：青少年のための管弦楽入門

ホルスト：惑星より抜粋

合唱—関西シティフィルハーモニー合唱団

## 第48回定期演奏会

2009年 **9 | 20** 日

午後2時30分開演予定  
ザ・シンフォニーホール

指揮—ギオルギ・バブアゼ(予定)

ヴェルディ：歌劇「運命の力」序曲

R.シュトラウス：歌劇「バラの騎士」組曲

ブラームス：交響曲第1番

演奏会の詳細につきましては、予告なく変更することがございますので、予めご了承ください。

関西シティフィルハーモニー交響楽団ホームページ

<http://kcpo.jp>

団員募集の  
お知らせ

- コントラバス
- ファゴット
- ホルン
- 打楽器

**募集中**

練習日時 毎週土曜日 午後6:30～9:30

練習場所 北出音楽事務所 (JR・京阪「京橋駅」から徒歩10分)

お問い合わせは事務局まで [06-6136-1737]

◎事務局が変わりました。ご注意ください◎

なお、当団のホームページでも最新の団員募集情報を公開しております。

関西シティフィルハーモニー交響楽団  
**友の会**

会員募集のお知らせ

当団では「友の会」の会員を募集致しております。会員になられますと ■**当団主催演奏会のご案内** ■**特別優待価格でのご入場** ■**友の会特別席のご用意** 等の特典があります。入会金、会費無料!!

友の会会員 お申し込み方法

\*はがきでの演奏会のご案内をご希望の方……パンフレットに折込の申し込み用紙にてお申し込みください。お問い合わせは事務局までお気軽にどうぞ [友の会事務局 090-8378-2004 正岡]

・友の会のみなさまの個人情報は、演奏会のご案内など、当団の諸活動に関係する用途以外には、一切利用致しません。